

HMG-CoA還元酵素阻害薬（スタチン系薬）フォーミュラリー

※ 推奨対象に該当しない場合は、第1推奨薬への切り替えをご検討下さい。

標準治療薬の推奨リスト		推奨/選択理由
第1推奨薬	ロスバスタチンOD錠2.5mg 5mg	各ガイドラインにおいて、ストロングスタチンが推奨されることが多い。 【選択理由】 ・同力価における薬価が他の同効薬と比較して最も安価 ・承認用量の幅が最も大きい（1回2.5mg～最大20mg） ・薬物相互作用が少ない <注意> シクロスポリンと併用禁忌
第2推奨薬	ピタバスタチンCa・OD錠1mg 2mg	【推奨対象】 ・副作用等でロスバスタチンが使用しづらい場合 ・小児（10歳以上）の家族性高コレステロール血症に薬物治療を考慮する場合 ・持参薬で継続しており、安定している場合 <注意> シクロスポリンと併用禁忌
条件付き 使用 推奨薬	プラバスタチンNa錠10mg	【推奨対象】 ・重篤な肝障害時 ・穏やかなLDL低下作用を期待する場合 ・持参薬でスタンダードスタチンを継続しており、安定している場合
	【限】フルバスタチン錠20mg	【推奨対象】 ・シクロスポリン併用時 ※スタチンとシクロスポリンの併用では、スタチンの血中濃度が上昇し横紋筋融解症等の副作用発現頻度が増加するおそれがあるが、フルバスタチンは受ける影響が最も小さい。

標準的換算量 (第1推奨薬へ切り替え検討時に参考にして下さい。)								備考	
LDL低下作用 大きい									
ストロングスタチン	第1推奨薬	ロスバスタチンOD錠 2.5mg・5mg			2.5mg	5mg	10mg	20mg	・水溶性スタチン ・CYPでほとんど代謝されない ・シクロスポリン併用禁忌
	第2推奨薬	ピタバスタチンCa・OD錠 1mg・2mg		1mg	2mg	4mg			・脂溶性スタチン ・CYPでほとんど代謝されない ・シクロスポリン併用禁忌
	↑			↑	↑	↑	↑	↑	
スタンダードスタチン	採用なし	アトルバスタチン		5mg	10mg	20mg	40mg		・脂溶性スタチン ・CYP3A4で代謝 ※家族性のみ ・シクロスポリン併用注意※
	採用なし	シンバスタチン	5mg	10mg	20mg				・脂溶性スタチン ・CYP3A4で代謝 ・シクロスポリン併用注意※
	↓			↓	↓				
	条件付き推奨薬	プラバスタチンNa錠 10mg	10mg	20mg					・水溶性スタチン ・CYPが代謝に関与しない ・シクロスポリン併用注意※
条件付き推奨薬	【限】フルバスタチン錠 20mg	20mg	40mg	60mg				・脂溶性スタチン ・CYP2C9で代謝 ・シクロスポリン併用注意※	

※「併用注意」であっても「併用禁忌」の薬剤と同程度にスタチンの血中濃度が上昇する可能性があるため、併用時は減量も検討し慎重に投与すること